



政府統計

平成25年度 青少年のインターネット利用環境実態調査

調査結果(概要)

平成26年3月

内閣府

目次

調査概要	2
概要1 青少年の携帯電話・スマートフォンの所有状況	3
概要2 青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用状況	4
概要3 青少年のインターネット利用状況 - 1 (携帯電話・スマートフォン)	5
概要4 青少年のインターネット利用状況 - 2 (携帯電話・スマートフォン)	6
概要5 青少年のインターネット利用状況 - 3 (携帯電話・スマートフォン)	7
概要6 青少年のインターネット利用状況 - 4 (パソコン)	8
概要7 青少年のインターネット利用状況 - 5 (ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤー)	9
概要8 フィルタリング等利用率 - 1 (携帯電話・スマートフォン)	10
概要9 フィルタリング等利用率 - 2 (携帯電話・スマートフォン)	11
概要10 フィルタリング等利用率 - 3 (携帯電話・スマートフォン)	12
概要11 フィルタリング等利用率 - 4 (パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤー)	13
概要12 インターネット上のトラブルなどの経験 - 1	14
概要13 インターネット上のトラブルなどの経験 - 2	15
概要14 インターネット上のトラブルなどの経験 - 3 (青少年の実態と保護者の認識とのギャップ)	16
概要15 インターネットの利用に関して心配なこと - 1	17
概要16 インターネットの利用に関して心配なこと - 2	18
概要17 インターネットに関する啓発や学習の経験	19
概要18 家庭のルール - 1 (青少年の実態と保護者の認識とのギャップ)	20
概要19 家庭のルール - 2 (啓発経験の有無別)	21
概要20 青少年と保護者のインターネットに関する理解度	22
概要21 青少年インターネット環境整備法	23
概要22 青少年のインターネット利用に必要な取組	24

調査概要

1. 調査目的

平成21年度～平成24年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

2. 調査設計

- (1) 方法: 調査員による個別面接方式
- (2) 対象: ①満10歳から満17歳までの青少年(3,000人) ②上記青少年の同居の保護者(3,000人)
- (3) 期間: 平成25年11月9日～12月8日
- (4) 回収結果: ①青少年調査 1,817人(60.6%) ②保護者調査 1,993人(66.4%)

3. 企画分析会議

- 委員長 藤原 静雄(中央大学法科大学院 教授)
- 委員 生田 倫子(神奈川県立保健福祉大学 専任講師)
- 国分 明男((一財)インターネット協会 副理事長)
- 小豆川 裕子((株)NTTデータ経営研究所 ソーシャルイノベーション・コンサルティング本部 上席研究員)
- 西田 光昭(千葉県柏市立中原小学校 校長)

4. 備考

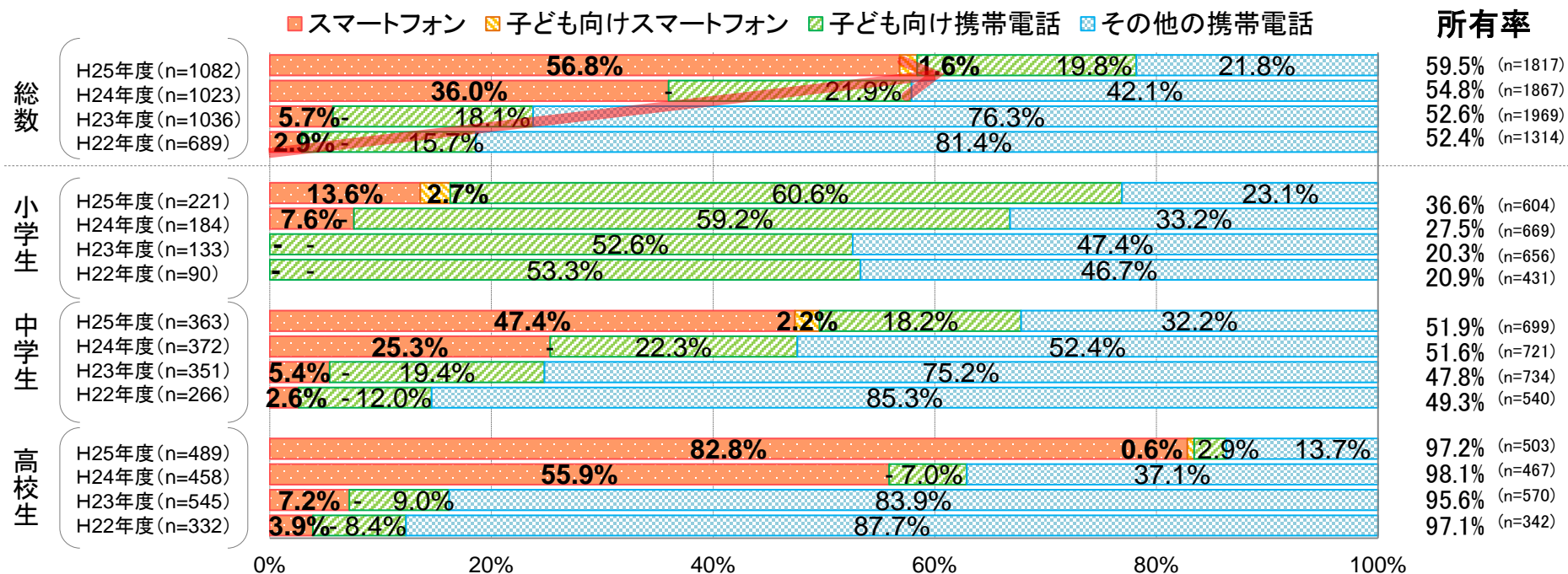
- ・「携帯電話・スマートフォン」とは、「スマートフォン」「機能限定スマートフォンや子ども向けスマートフォン(以下、子ども向けスマートフォンという。)」 「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話(PHSを含む)(以下、子ども向け携帯電話という。)」 「その他の携帯電話(PHSを含む)(以下、携帯電話という。)」を指す。
- ・「携帯電話」とは、「携帯電話」及び「子ども向け携帯電話」を合算したもの、「スマートフォン」とは、「スマートフォン」及び「子ども向けスマートフォン」を合算したものを指す。
- ・「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。
- ・平成22年度～平成24年度における「子ども向け携帯電話」は、「子ども向けスマートフォン」を含む。

概要1 青少年の携帯電話・スマートフォンの所有状況

スマートフォンを所有する青少年が増加。

青少年の携帯電話・スマートフォンの所有率及び所有機種

(青少年調査)



(注1) 「青少年の携帯電話・スマートフォンの所有機種」は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「所有率」は、青少年回答者全体のうち、携帯電話・スマートフォンを持っている率を示す。

(注3) 平成22年度～平成24年度における「子ども向け携帯電話」は、「子ども向けスマートフォン」を含む。

青少年が所有する携帯電話・スマートフォンのうち、スマートフォンの占める割合は、小学生では1割台後半、中学生では約5割、高校生では8割台前半。

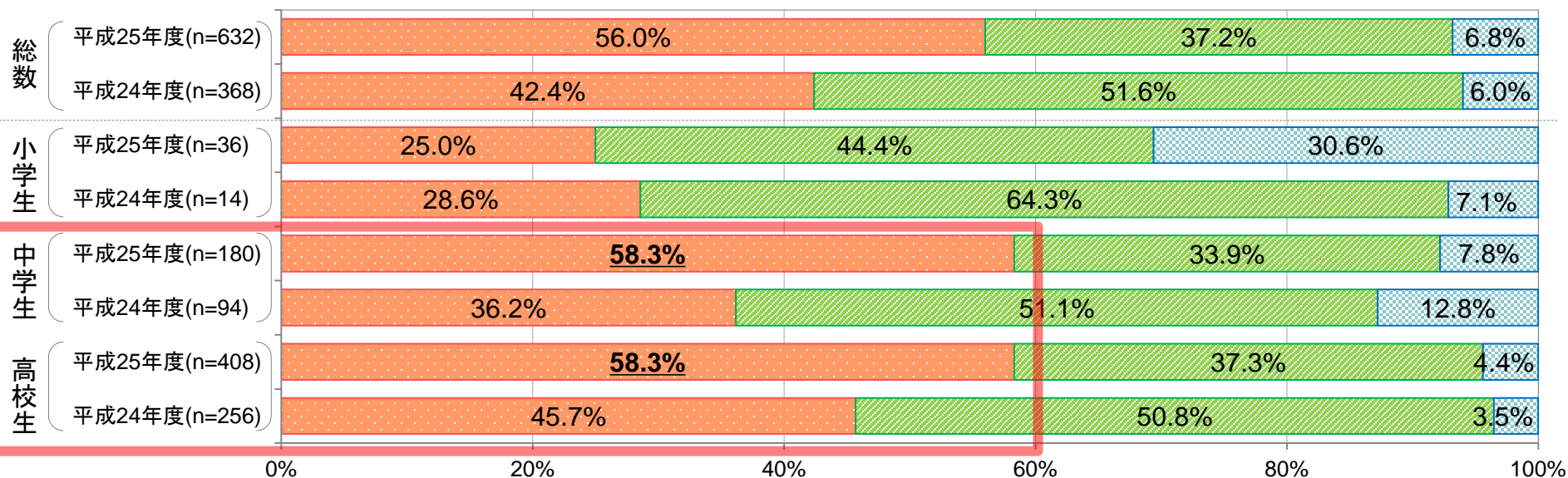
概要2 青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用状況

青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率は、中・高校生で増加。

スマートフォンの無線LAN回線の利用状況

(青少年調査)

■ 使うことがある ■ 使うことはない ■ わからない



(注) 「スマートフォンの無線LAN回線の利用状況」の数値は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年のうち、スマートフォンを持っている青少年をベースに集計。

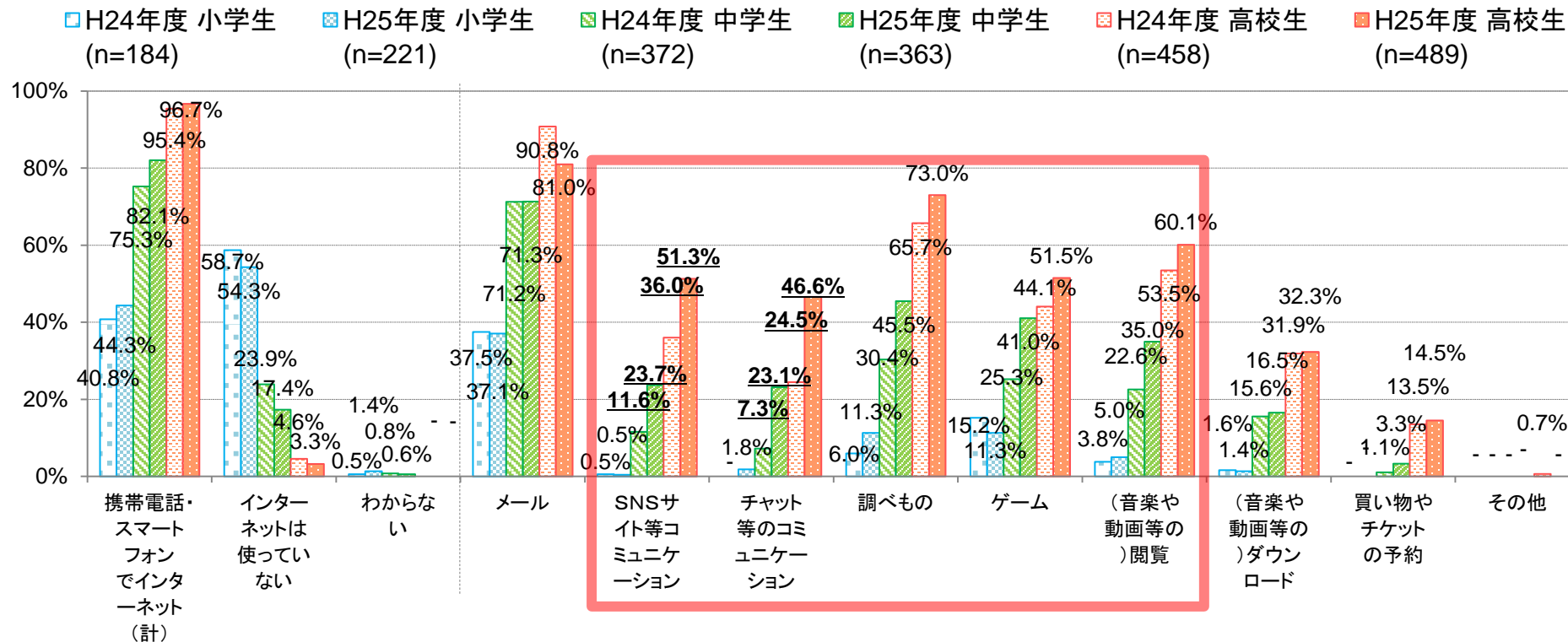
スマートフォンを所有する青少年のうち、無線LAN回線を利用する割合は、小学生の2割台半ば、中・高校生の6割弱。

概要3 青少年のインターネット利用状況 - 1 (携帯電話・スマートフォン)

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用が常態化。

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用状況

(青少年調査)



(注) 「青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用状況」は、携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した青少年をベースに集計。

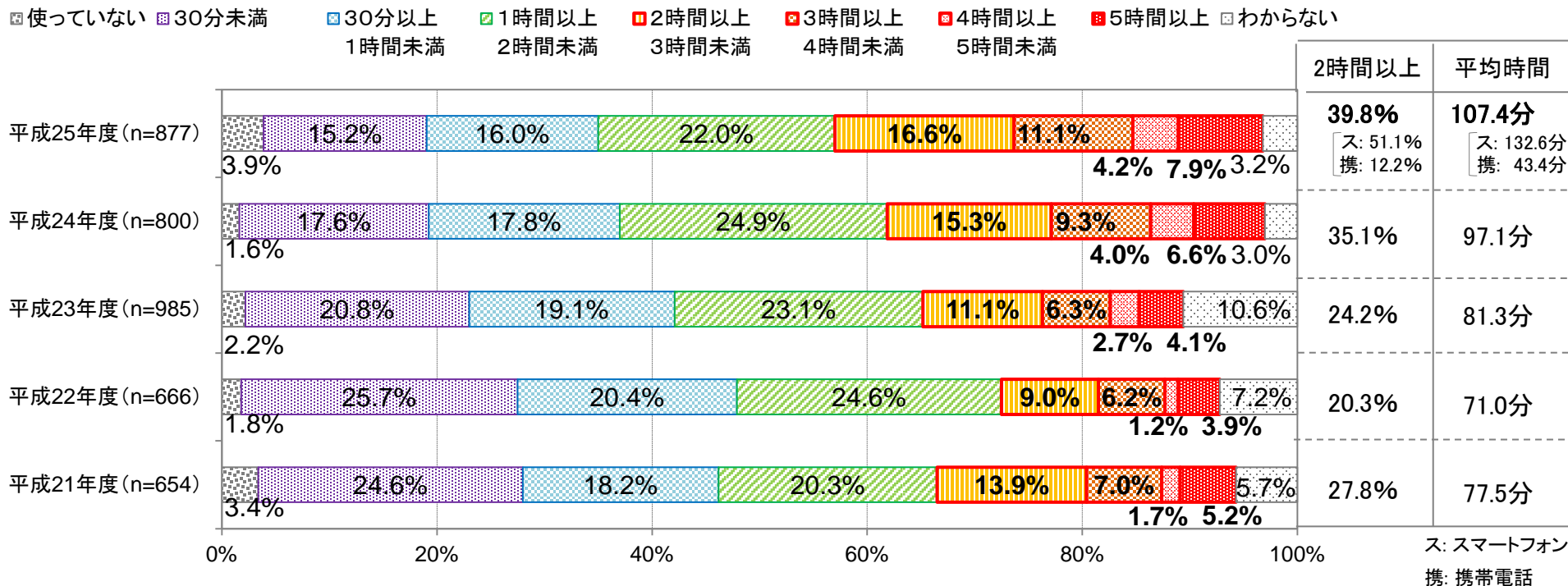
携帯電話・スマートフォンを所有する青少年のうち、小学生の4割台半ば、中学生の8割台前半、高校生の9割台後半がインターネットを利用。利用状況は、中高生では、SNSサイト等やチャット等のコミュニケーション、調べもの、ゲーム及び(音楽や動画等の)閲覧が増加。

概要4 青少年のインターネット利用状況 - 2 (携帯電話・スマートフォン)

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用が長時間化。

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間(経年比較)

(青少年調査)



(注1) 「青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間」は、携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

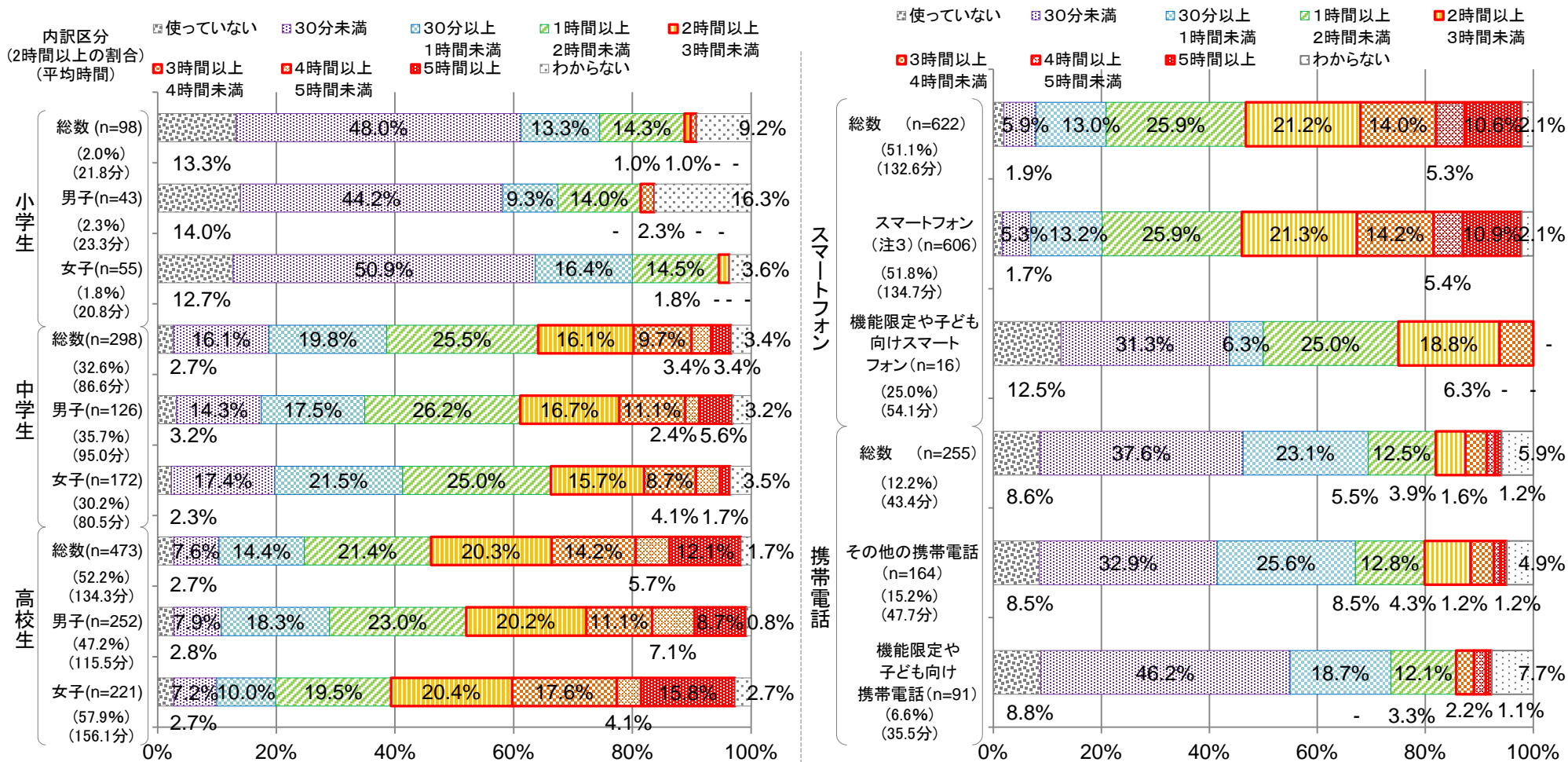
(注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日当たりの携帯電話・スマートフォンのインターネット利用時間の平均値を集計。

携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用している青少年のうち、約4割が2時間以上インターネットを利用。平均時間は約107分。

概要5 青少年のインターネット利用状況 - 3 (携帯電話・スマートフォン)

青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用は、学校種が上がるとともに長時間傾向。
携帯電話に比べてスマートフォンを所有する青少年の方が長時間傾向。

平成25年度 青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間(学校種別、携帯電話の種類別) (青少年調査)



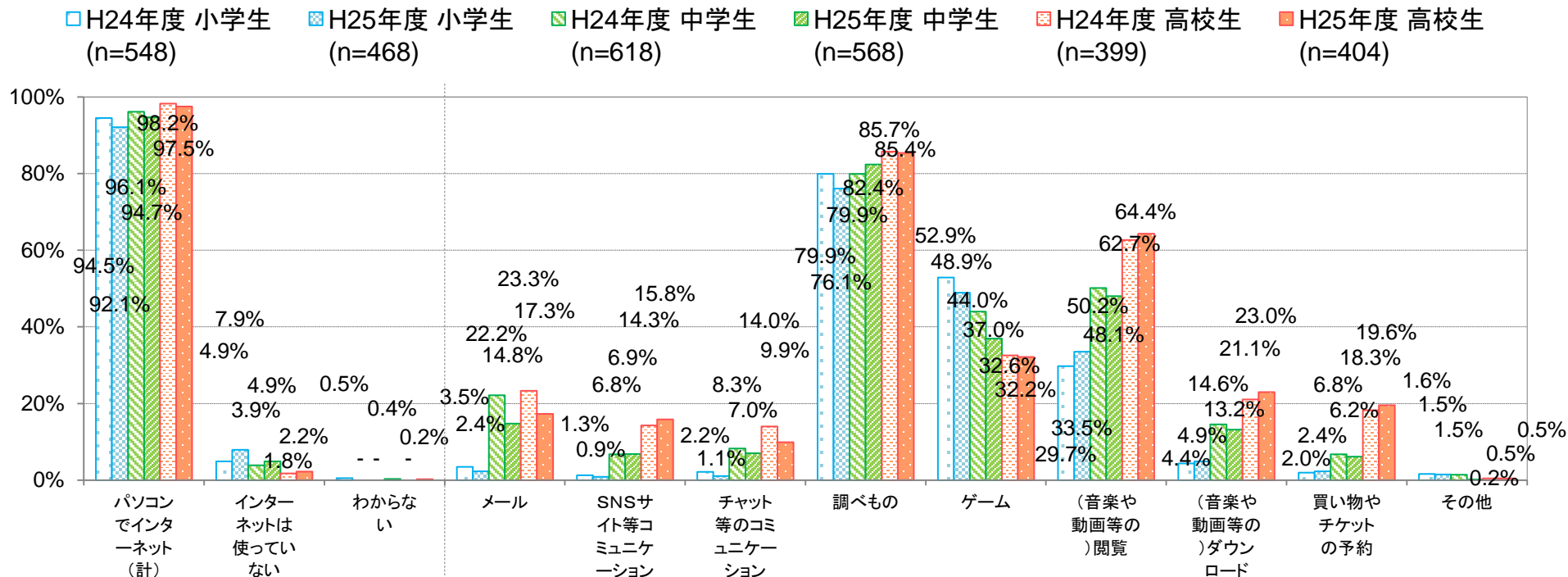
(注1) 「青少年の携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間」は、携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。
 (注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日当たりの携帯電話・スマートフォンのインターネット利用時間の平均値を集計。
 (注3) 「スマートフォン(n=606)」は、「機能限定や子ども向けスマートフォン」の数値を含まない。

概要6 青少年のインターネット利用状況 - 4 (パソコン)

青少年のパソコンを通じたインターネット利用の常態化。

青少年のパソコンを通じたインターネット利用状況

(青少年調査)



(注1) 「青少年のパソコンのインターネット利用状況」の数値は、パソコンを使用していると回答した青少年をベースに集計。

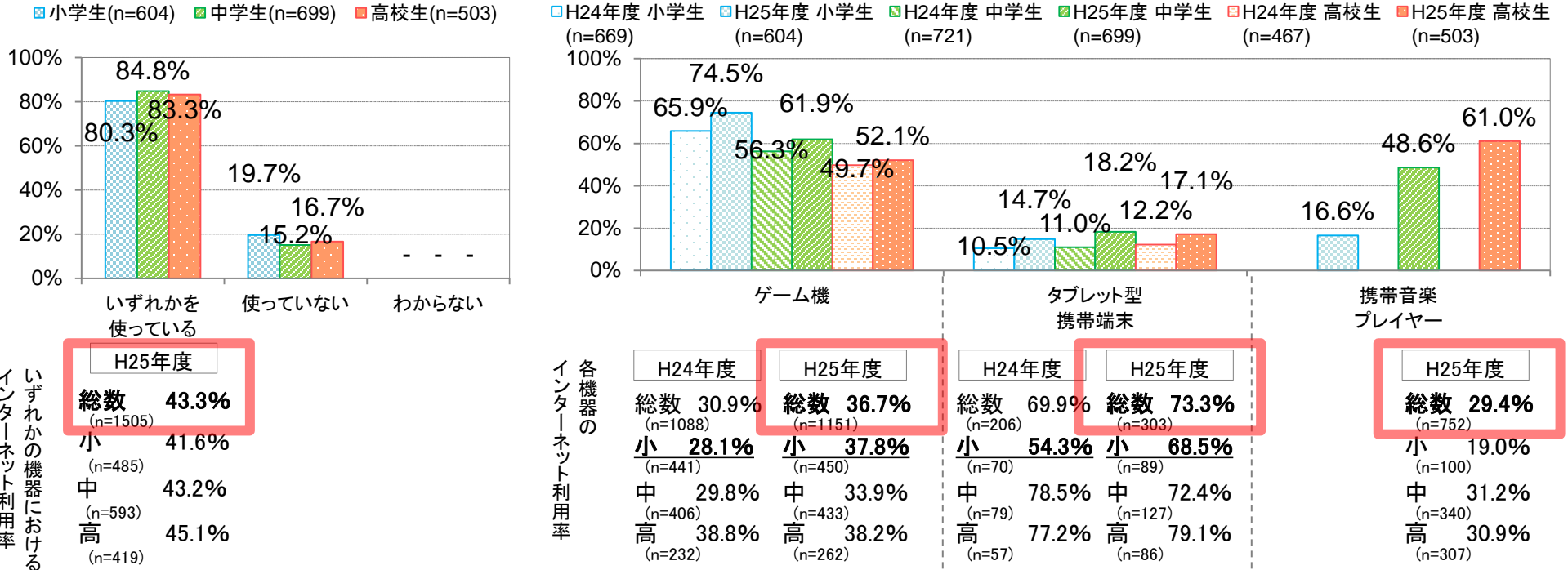
(注2) 回答した青少年のうちパソコンを使っている者の割合は、平成25年度は小学生(n=604)で77.5%、中学生(n=699)では81.3%、高校生(n=503)では80.3%。
平成24年度は小学生(n=669)で81.9%、中学生(n=721)では85.7%、高校生(n=467)では85.4%。

パソコンを使用する青少年のうち、小学生の9割台前半、中学生の9割台半ば、高校生の9割台後半がインターネットを利用。

概要7 青少年のインターネット利用状況-5(ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤー)

青少年の8割以上がゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーのいずれかを使用。
 いずれかの機器におけるインターネット利用は、4割台前半。

青少年のゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーの使用率及びインターネット利用率 (青少年調査)



(注1)「使用率」は青少年の回答者全体をベースに集計。

(注2)「いずれかの機器におけるインターネット利用率」は、「ゲーム機」「タブレット型携帯端末」「携帯音楽プレイヤー」のいずれかを使用していると回答した青少年のうち、インターネットを利用している率を示す。

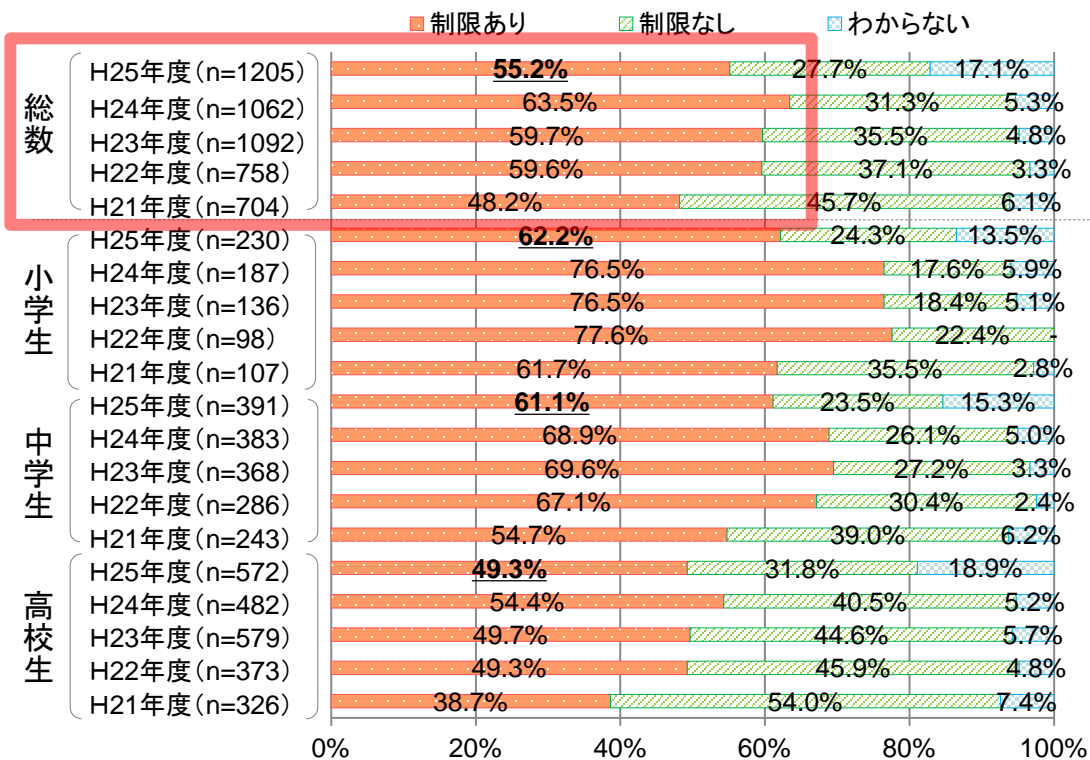
(注3)「各機器のインターネット利用率」は、それぞれの機器を使用していると回答した青少年のうち、インターネットを利用している率を示す。

使用する機器におけるインターネット利用は、ゲーム機では3割台後半で、小学生のインターネット利用が増加。タブレット型では7割台前半、携帯音楽プレイヤーでは約3割。

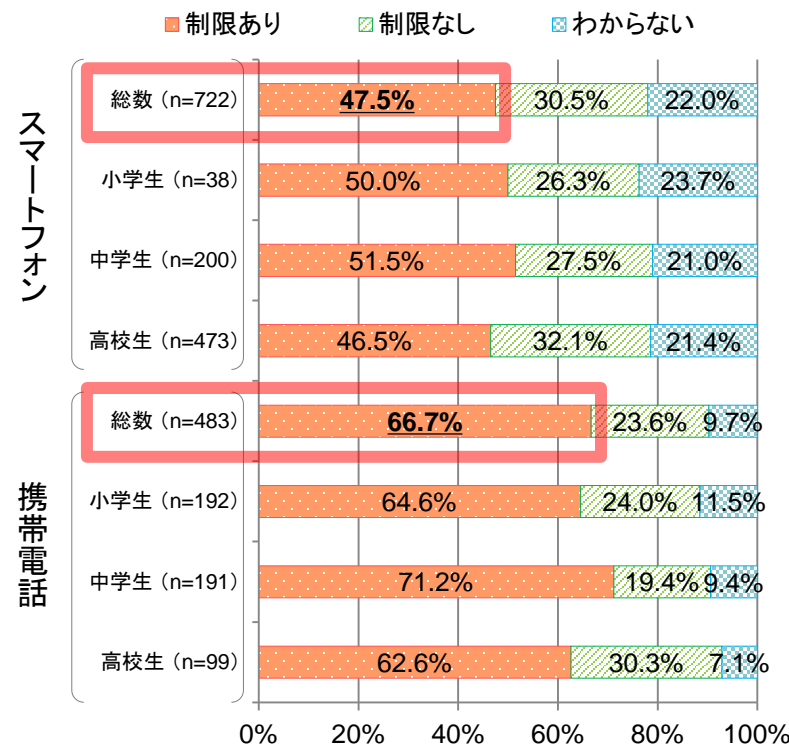
概要8 フィルタリング等利用率 - 1 (携帯電話・スマートフォン)

携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率は、前年と比べて減少。

フィルタリング等利用率(携帯電話・スマートフォン、経年比較)



平成25年度 所有機種別フィルタリング等利用率



(注1) 「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。

(注2) 「フィルタリング等利用率(携帯電話・スマートフォン、経年比較)」は、青少年が携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した保護者をベースに集計。

(注3) 「フィルタリング等利用率(携帯電話・スマートフォン、経年比較)」における平成25年度の数値は、携帯電話及びスマートフォンのフィルタリング等利用率を合算して集計。

(注4) 「平成25年度 所有機種別フィルタリング等利用率」は、青少年が携帯電話を所有していると回答した保護者と、青少年がスマートフォンを所有していると回答した保護者それぞれをベースに集計。

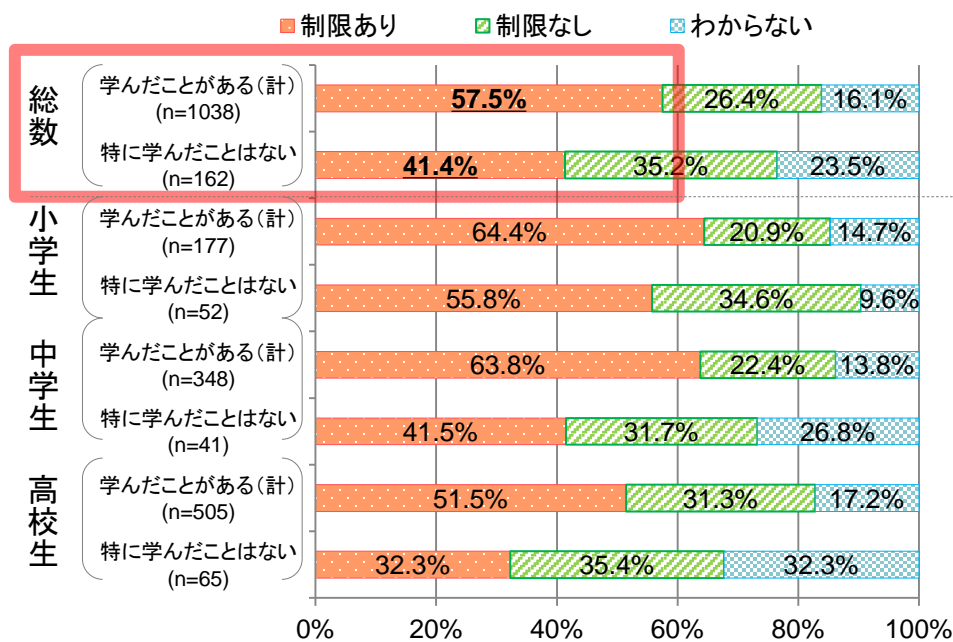
(保護者調査)

携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率は、小学生で6割台前半、中学生で6割強、高校生で約5割。いずれの学校種においても減少。また、携帯電話に比べ、スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率が低い。

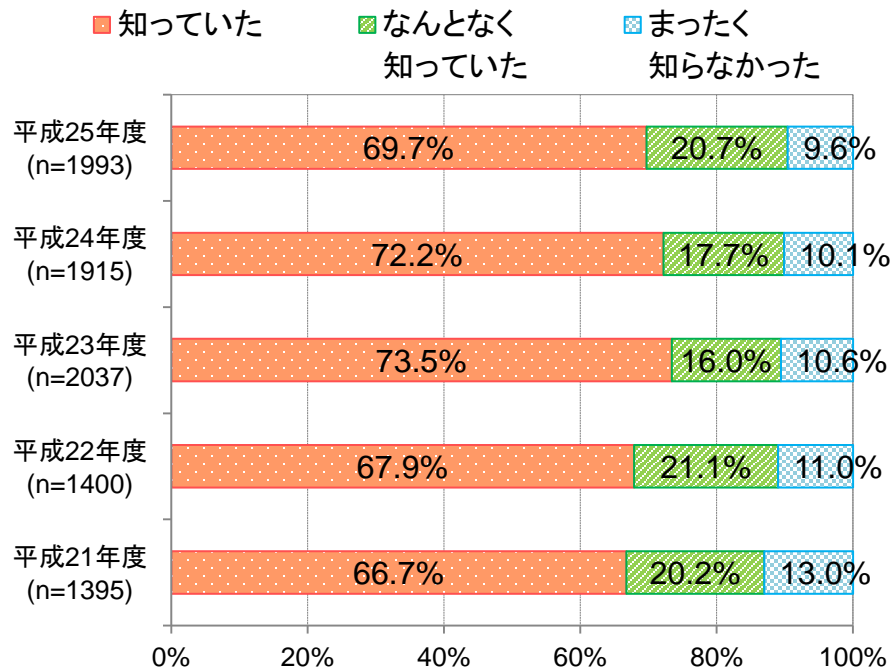
概要9 フィルタリング等利用率 - 2 (携帯電話・スマートフォン)

フィルタリングの認知度は横ばい傾向。青少年の携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率は、啓発経験のある保護者の利用率が高い。

携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率
【啓発経験の有無別】



フィルタリングの認知度 (保護者調査)



(注1) 「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。

(注2) 「携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率【啓発経験の有無別】」は、青少年が携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した保護者をベースに集計。

(注3) 「フィルタリングの認知度」は回答した保護者全員をベースに集計。

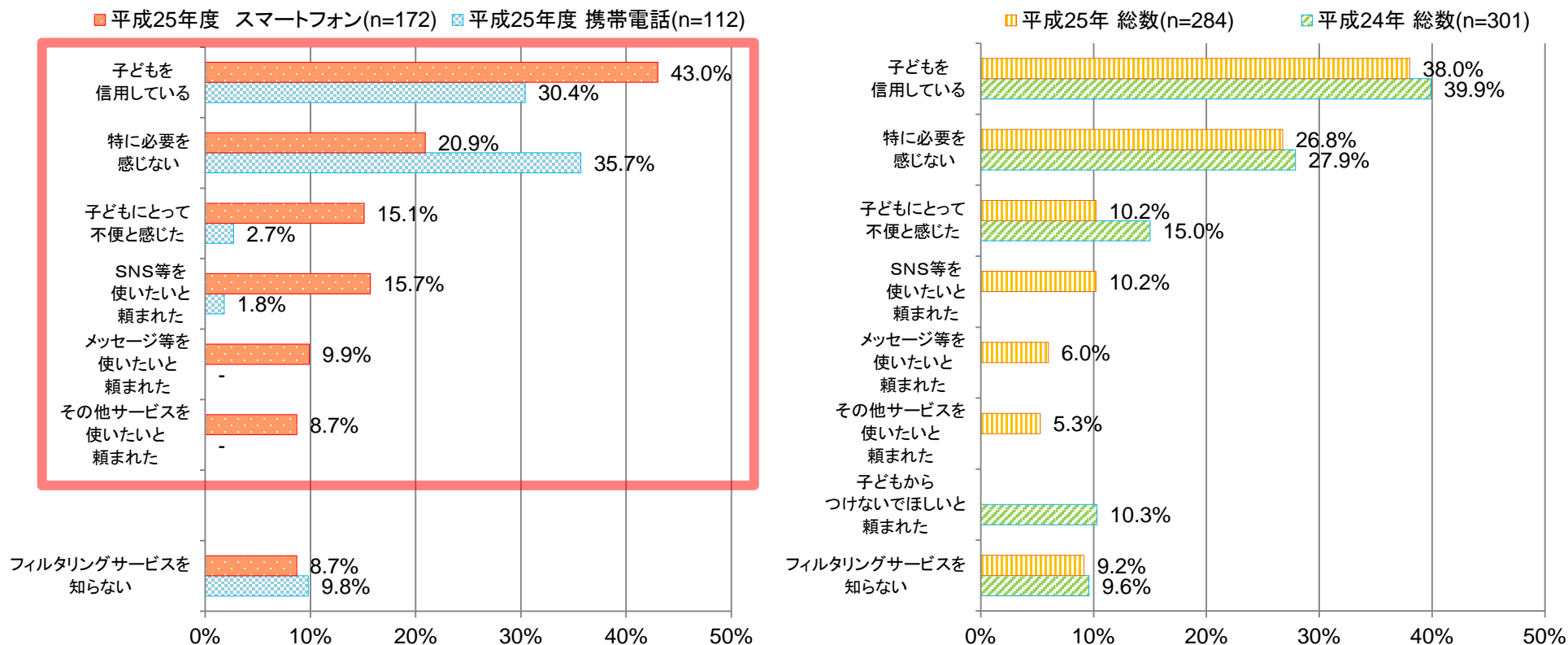
携帯電話・スマートフォンにおけるフィルタリング等利用率は、いずれの学校種でも、啓発経験のある保護者の利用率が高い。フィルタリングの認知度は、「知っていた」及び「なんとなく知っていた」の合計は約9割で、横ばい傾向。

概要10 フィルタリング等利用率 - 3 (携帯電話・スマートフォン)

フィルタリングを利用していない理由は、携帯電話とスマートフォンでは異なる傾向。

フィルタリングを利用していない理由

(保護者調査)



(注1)「フィルタリングを利用していない理由」は、フィルタリングを使っていないと回答した保護者をベースに集計。また、回答された上位項目を抜粋して掲載。

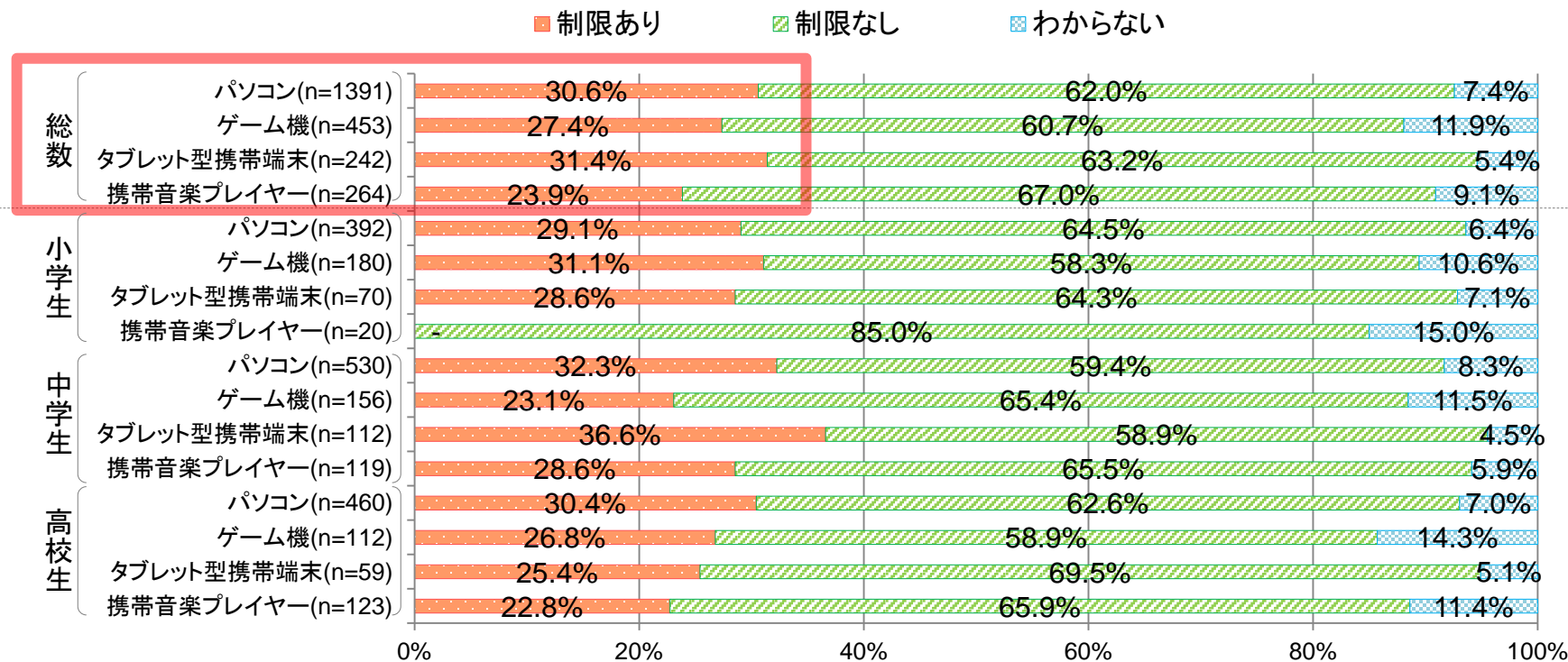
(注2)「SNS等を使いたいと頼まれた」、「メッセージ等を使いたいと頼まれた」、「その他サービスを使いたいと頼まれた」は平成25年度の新設項目。「子どもからつけなくてほしいと頼まれた」は平成25年度の削除項目。

スマートフォンを所有していると回答した保護者では、「子どもを信用している」、「特に必要を感じない」、「子どもにとって不便と感じた」は、それぞれ4割前半半、約2割、1割台半ばに対して、携帯電話を所有すると回答した保護者では、それぞれ約3割、3割台半ば、1割未満。

概要11 フィルタリング等利用率-4(パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤー)

パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーにおけるフィルタリング等利用率は、2割台前半から3割強。

パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーにおけるフィルタリング等利用率 (保護者調査)



(注1) 「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。

(注2) 「パソコン、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーにおけるフィルタリング等利用率」は、青少年がパソコンを自宅で利用している、もしくはゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーにおいてインターネットを利用していると回答した保護者それぞれをベースに集計。

フィルタリング等利用率について、パソコンは約3割、ゲームは2割台後半、タブレット型携帯端末は3割強、携帯音楽プレイヤーは2割台前半。

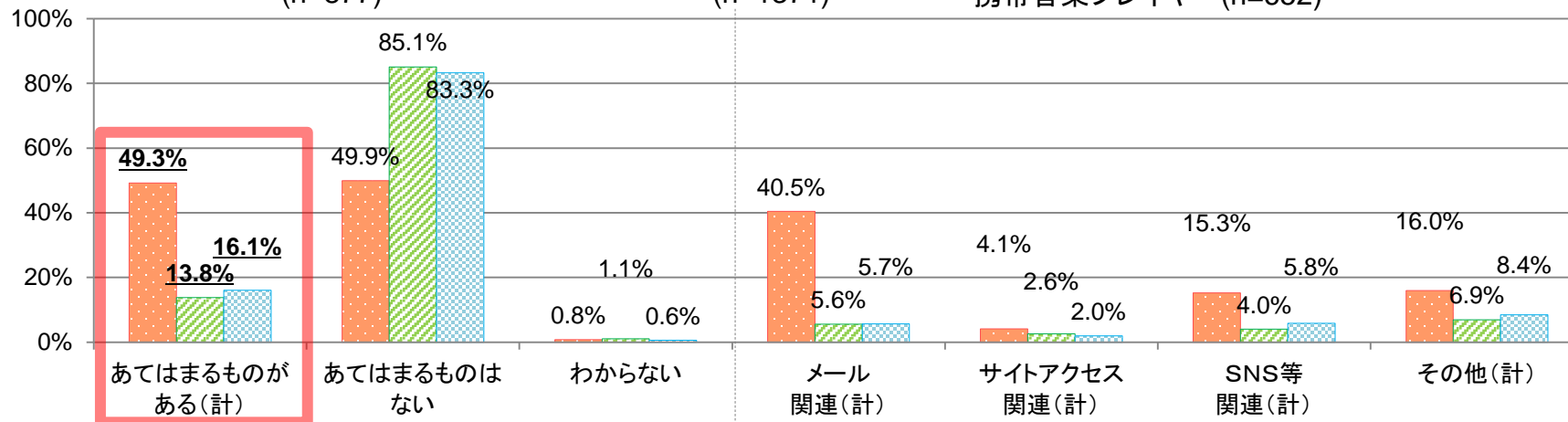
概要12 インターネット上のトラブルなどの経験 - 1

インターネット上のトラブルや問題行動に関する行為は、携帯電話・スマートフォンを利用した際に経験することが多い。

インターネット上のトラブルなどの経験(機器別)

(青少年調査)

■ 携帯電話・スマートフォン (n=877) ■ パソコン (n=1371) ■ ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤー (n=652)



携帯電話・スマートフォンの内訳
 ス: スマートフォン(n=622)
 携: 携帯電話(n=255)

ス: 55.5%	ス: 44.1%	ス: 0.5%	ス: 44.4%	ス: 5.1%	ス: 20.1%	ス: 20.4%
携: 34.1%	携: 64.3%	携: 1.6%	携: 31.0%	携: 1.6%	携: 3.5%	携: 5.1%

(注1) 「インターネット上のトラブルなどの経験(機種別)」は、各機器においてインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「メール関連(計)」は、「悪口やいやがらせのメール送られた」「チェーンメール送られたことがある」「知らない人や、お店からメール来た」「悪口やいやがらせのメールを送った」「チェーンメール転送したことがある」を集計。

(注3) 「サイトアクセス関連(計)」は、「親に話しにくいサイトを見た」「サイトにアクセスし金を請求された」「差別内容掲載サイトにアクセスする」を集計。

(注4) 「SNS等関連(計)」は、「SNS等で知り合った人とやりとり」「SNS等に自分や他人の情報を書く」「SNS等で知り合った人と会った」を集計。

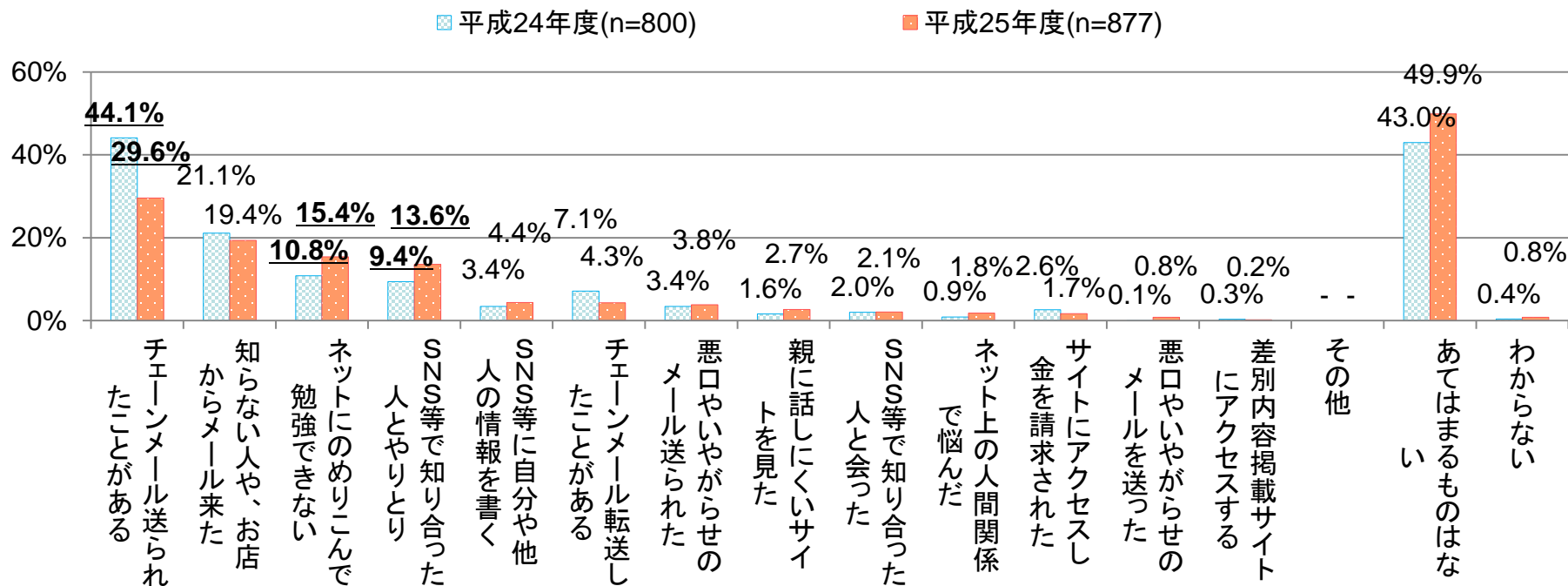
(注5) 「その他(計)」は、「ネットにのめりこんで勉強できない」「ネット上の人間関係で悩んだ」「その他」を集計。

インターネット上のトラブルや問題行動に関する経験について、「あてはまるものがある(計)」と回答した青少年は、携帯電話・スマートフォンでは約5割、パソコンでは1割台前半、ゲーム機・タブレット型携帯端末・携帯音楽プレイヤーでは1割台後半。

概要13 インターネット上のトラブルなどの経験 - 2

携帯電話・スマートフォンにおけるインターネット上のトラブルや問題行動に関する行為について、「あてはまるものがある(計)」と回答した青少年は、約5割。

インターネット上のトラブルなどの経験(携帯電話・スマートフォン、経年比較) (青少年調査)



(注1)「インターネット上のトラブルなどの経験(携帯電話・スマートフォン、経年比較)」は、携帯電話・スマートフォンでインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

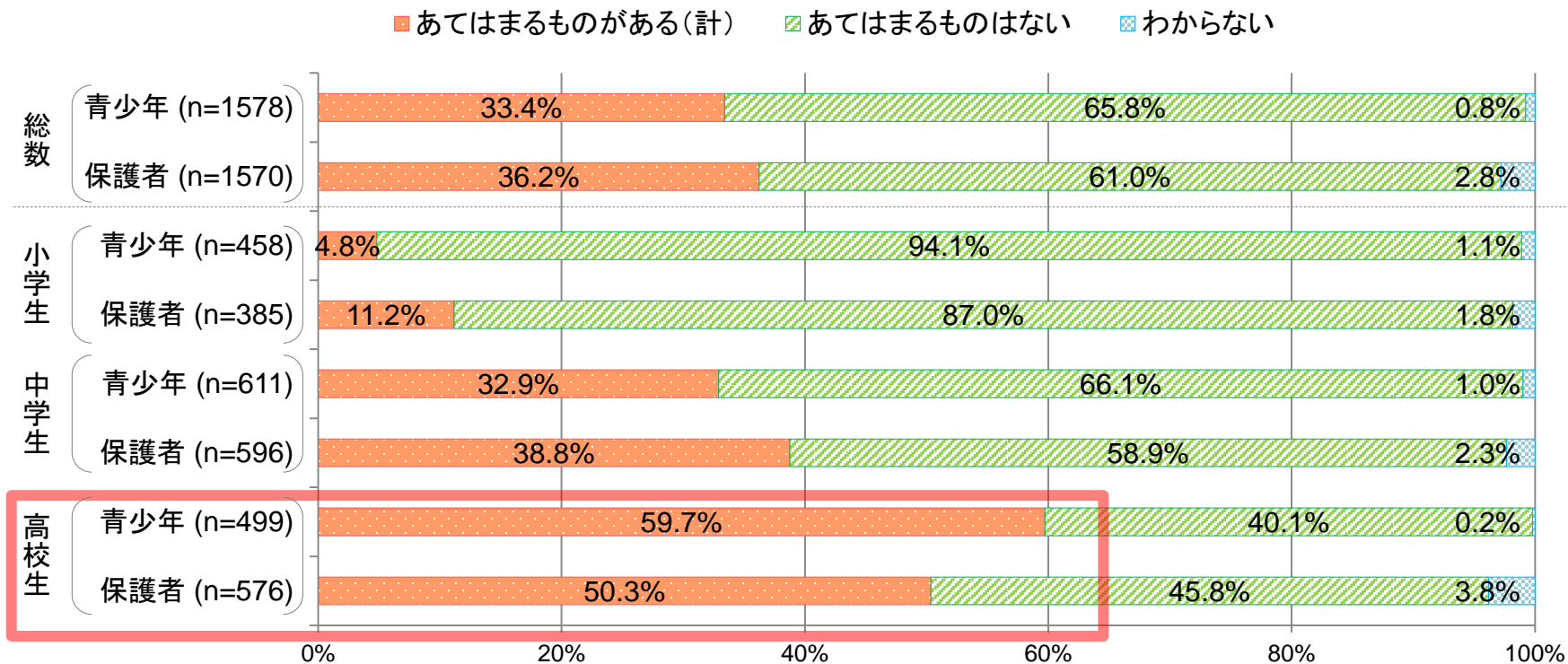
「チェーンメール送られたことがある」は約15ポイント減少。「ネットにのめりこんで勉強できない」と「SNS等で知り合った人とやりとり」は、やや増加。

概要14 インターネット上のトラブルなどの経験-3 (青少年の実態と保護者の認識とのギャップ)

青少年のインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験については、高校生では、保護者の回答が青少年の回答を下回っている。

インターネット上のトラブルなどの経験(青少年と保護者の比較)

(青少年・保護者調査)



(注)携帯電話又はパソコンでインターネットを利用していると回答した青少年及び、青少年が携帯電話又はパソコンでインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計

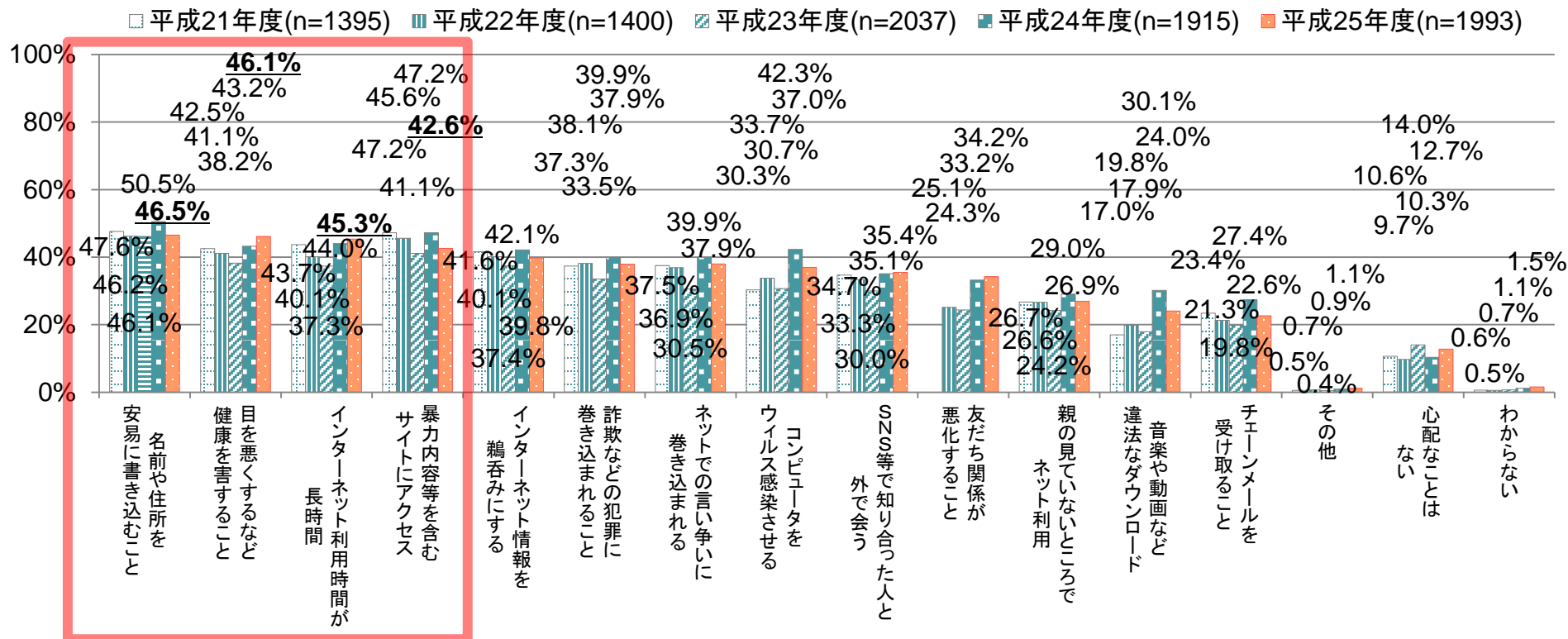
「あてはまるものがある(計)」との回答は、高校生において、青少年では59.7%、保護者では50.3%。

概要15 インターネットの利用に関して心配なこと - 1

インターネットの利用に関して心配なことは、「名前や住所を安易に書き込むこと」、「目を悪くするなど健康を害すること」、「インターネット利用時間が長時間」、「暴力内容等を含むサイトにアクセス」が上位。

インターネットの利用について心配なこと(経年比較)

(保護者調査)



(注)「インターネットの利用について心配なこと(経年比較)」は、回答した保護者全員をベースに集計。

上位の4項目では、「名前や住所を安易に書き込むこと」と「暴力内容等を含むサイトにアクセス」は、平成24年度から平成25年度にかけて減少。「目を悪くするなど健康を害すること」と「インターネット利用時間が長時間」は、平成23年度以降増加。

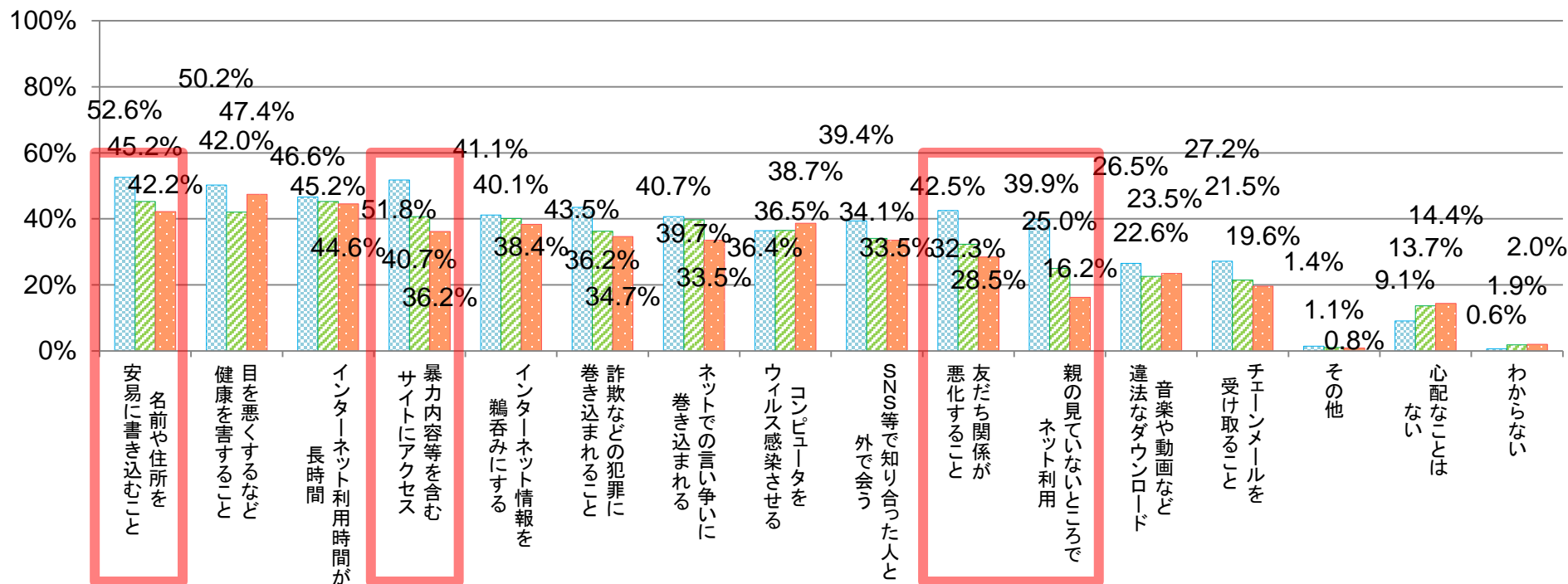
概要16 インターネットの利用に関して心配なこと - 2

小学生の保護者は、中学生・高校生の保護者よりも多くの項目を心配なこととして挙げる傾向。

インターネットの利用について心配なこと(学校種別)

(保護者調査)

小学生(n=637) 中学生(n=745) 高校生(n=597)



(注)「インターネットの利用について心配なこと(学校種別)」は、回答した保護者全員をベースに集計。

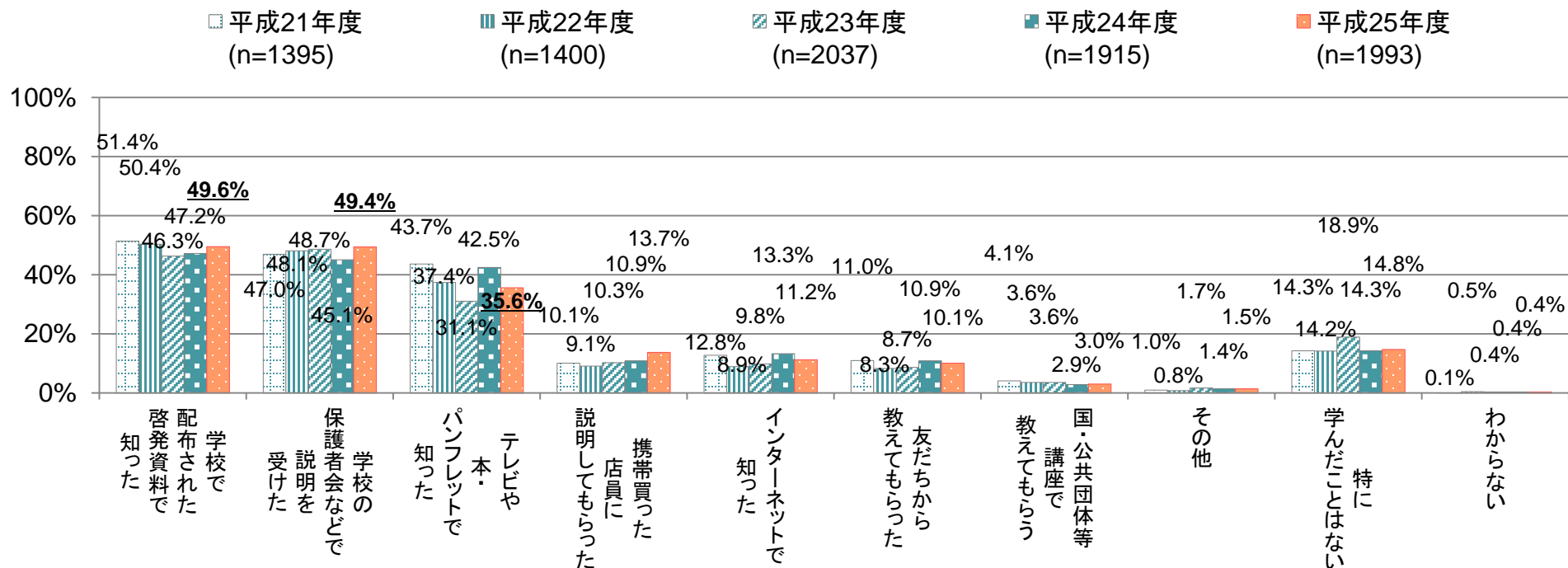
小学生の保護者では、中学生・高校生の保護者と比べて、「名前や住所を安易に書き込むこと」、「暴力内容等を含むサイトにアクセス」、「友だち関係が悪化すること」、「親の見ていないところでネット利用」をより多く挙げる傾向。

概要17 インターネットに関する啓発や学習の経験

インターネットに関する啓発や学習の経験は、多くの項目で前年度と同程度。

インターネットに関する啓発や学習の経験

(保護者調査)



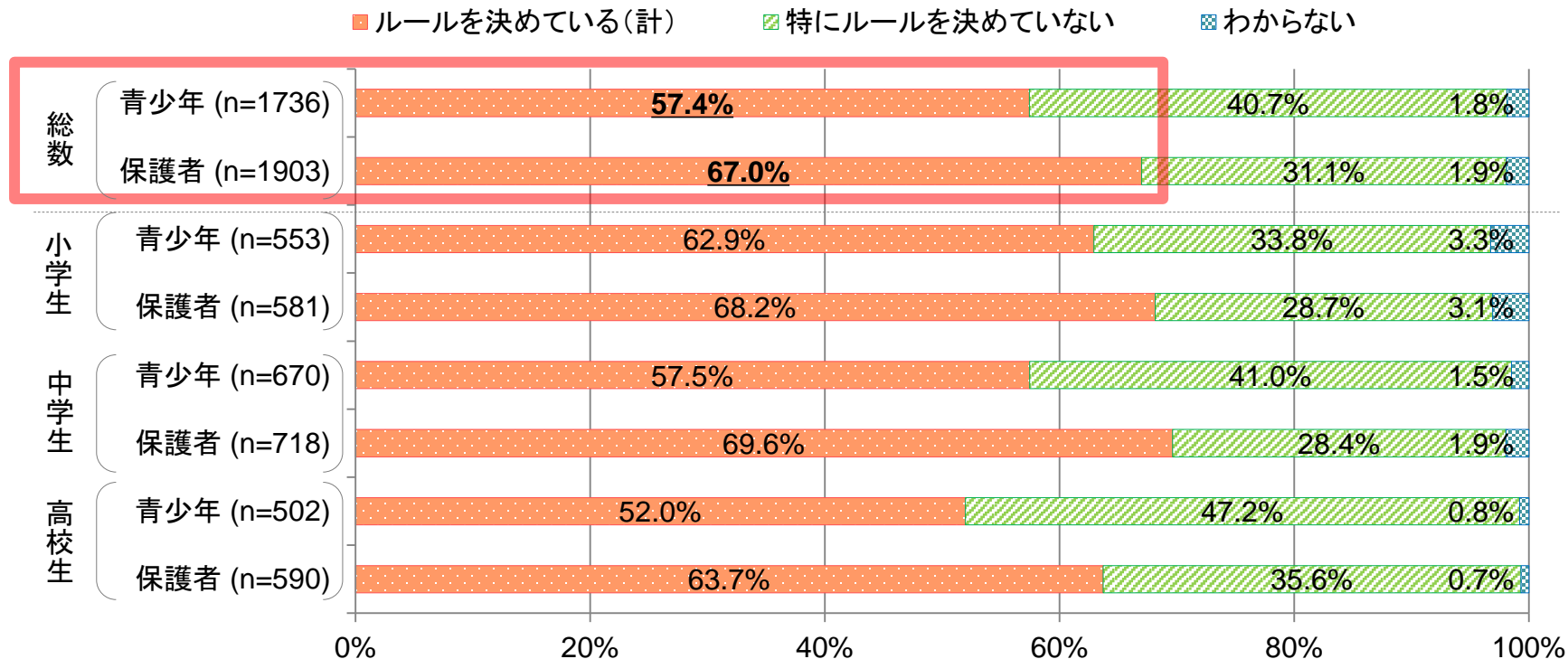
(注) 「インターネットに関する啓発や学習の経験」は、回答した保護者全員をベースに集計。

「学校で配布された啓発資料で知った」及び「学校の保護者会などで説明を受けた」が約5割、「テレビや本・パンフレットで知った」が3割台半ば。

概要18 家庭のルール - 1 (青少年の実態と保護者の認識とのギャップ)

インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールに関しては、青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。

インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールの有無 (青少年及び保護者調査)



(注1) 「インターネット接続機器」とは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、ゲーム機、タブレット型携帯端末、携帯音楽プレイヤーを指す。

(注2) インターネット接続機器のいずれかを使用していると回答した青少年及び青少年がインターネット接続機器のいずれかを使用していると回答した保護者をベースに集計。

青少年のインターネット接続機器の使い方について、「ルールを決めている(計)」との回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が青少年の回答を上回っている。

概要19 家庭のルール - 2 (啓発経験の有無別)

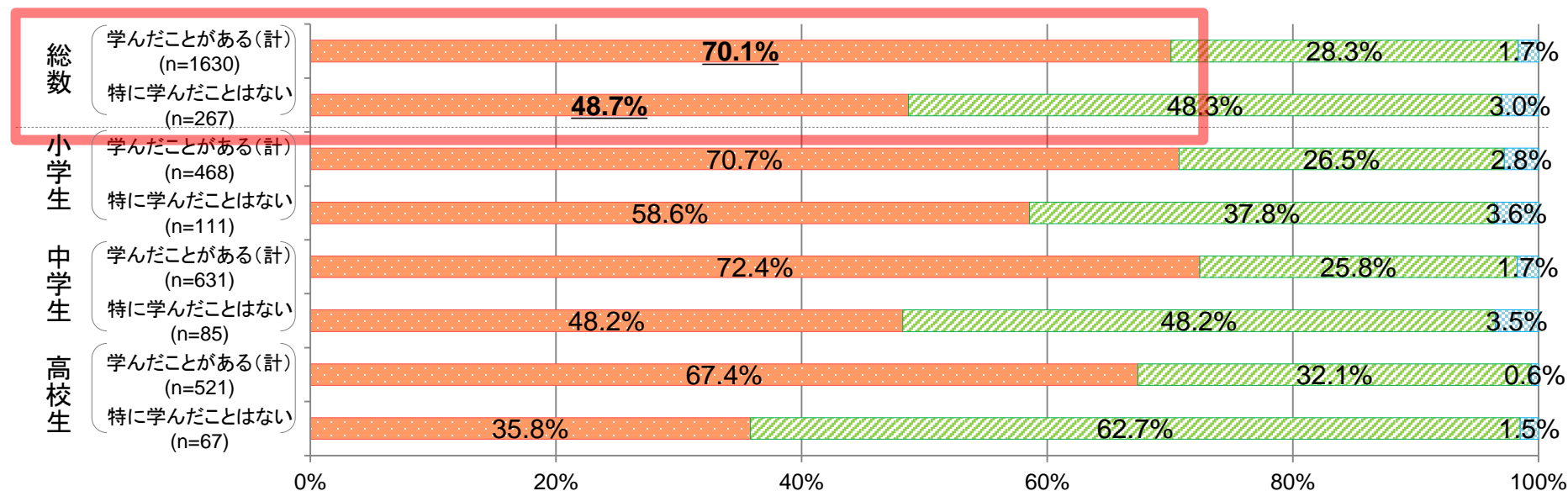
インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールに関しては、「ルールを決めている(計)」との回答は、啓発や学習の経験のある保護者の方が多い。

インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールの有無

(保護者調査)

【啓発経験の有無別】

■ ルールを決めている(計) ▨ 特にルールを決めていない ▩ わからない



(注1) 「インターネット接続機器」とは、携帯電話やスマートフォン、パソコン、ゲーム機、タブレット型携帯端末、携帯音楽プレイヤーを指す。

(注2) インターネット接続機器のいずれかを使用していると回答した青少年及び青少年がインターネット接続機器のいずれかを使用していると回答した保護者をベースに集計。

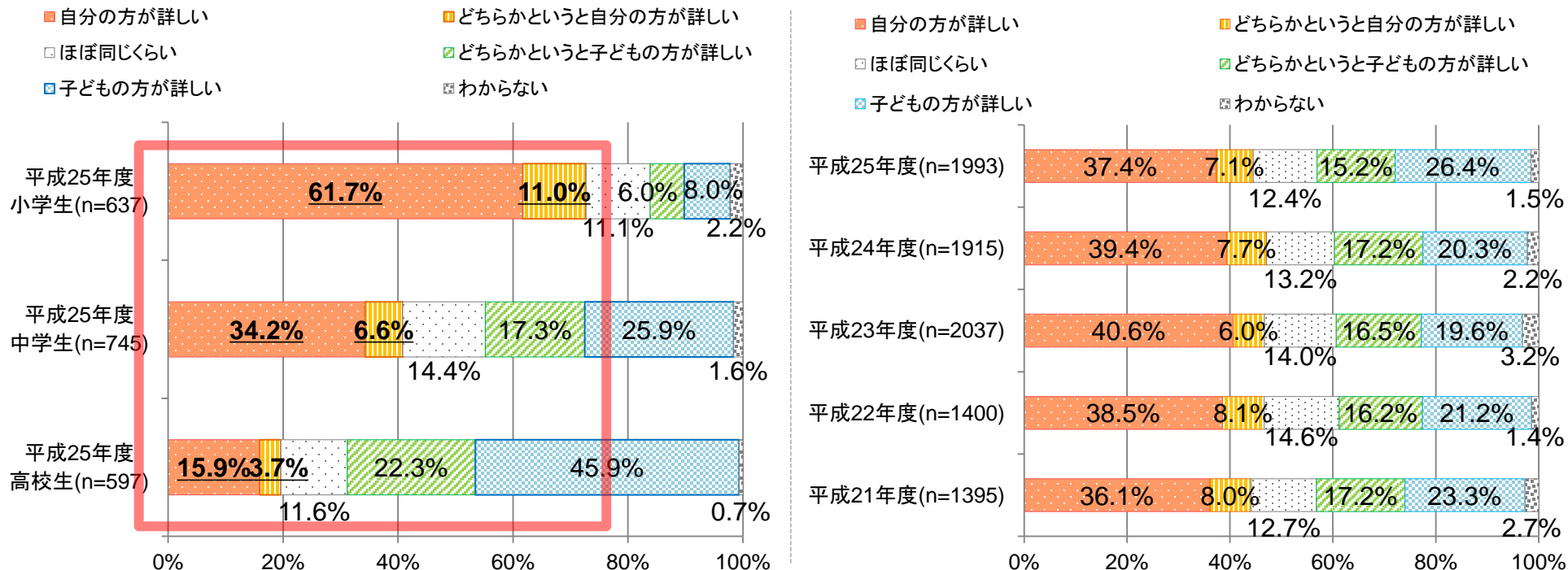
「ルールを決めている(計)」との回答は、啓発や学習の経験について「学んだことがある(計)」と回答した保護者では約7割、「特に学んだことはない」と回答した保護者では5割弱。

概要20 青少年と保護者のインターネットに関する理解度

学校種が上がるにつれ、保護者よりも青少年の方がインターネットに詳しいと回答する傾向。

保護者と青少年では、どちらがインターネットに詳しいか(学校種別・経年比較)

(保護者調査)



(注1)「保護者と青少年では、どちらがインターネットに詳しいか(学校種別・経年比較)」は回答した保護者全員をベースに集計。

(注2)「自分の方が詳しい(計)」は、「自分の方が詳しい」と「どちらかという自分の方が詳しい」の合計。

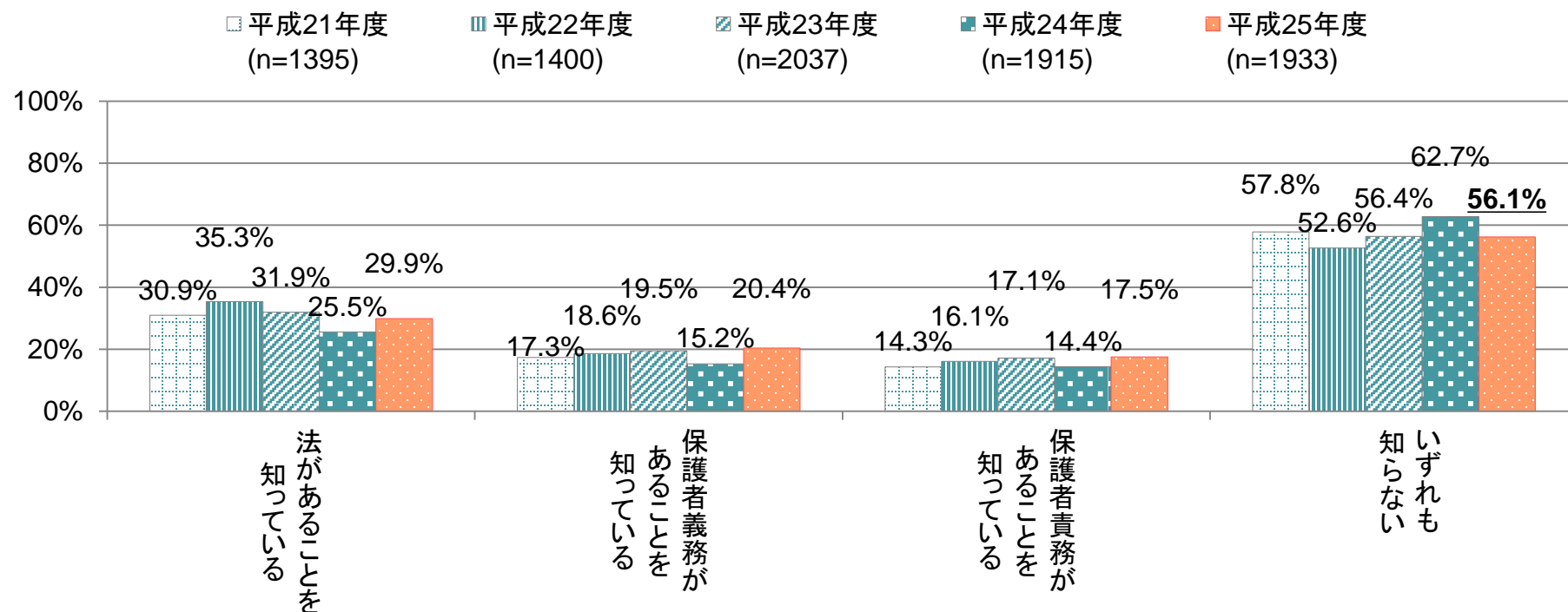
「自分の方が詳しい(計)」と回答した保護者は、小学生では7割台前半、中学生では約4割、高校生では約2割。

概要21 青少年インターネット環境整備法

青少年インターネット環境整備法の認知は、前年度と同程度。

青少年インターネット環境整備法の認知

(保護者調査)



(注)「青少年インターネット環境整備法の認知」は回答した保護者全員をベースに集計。

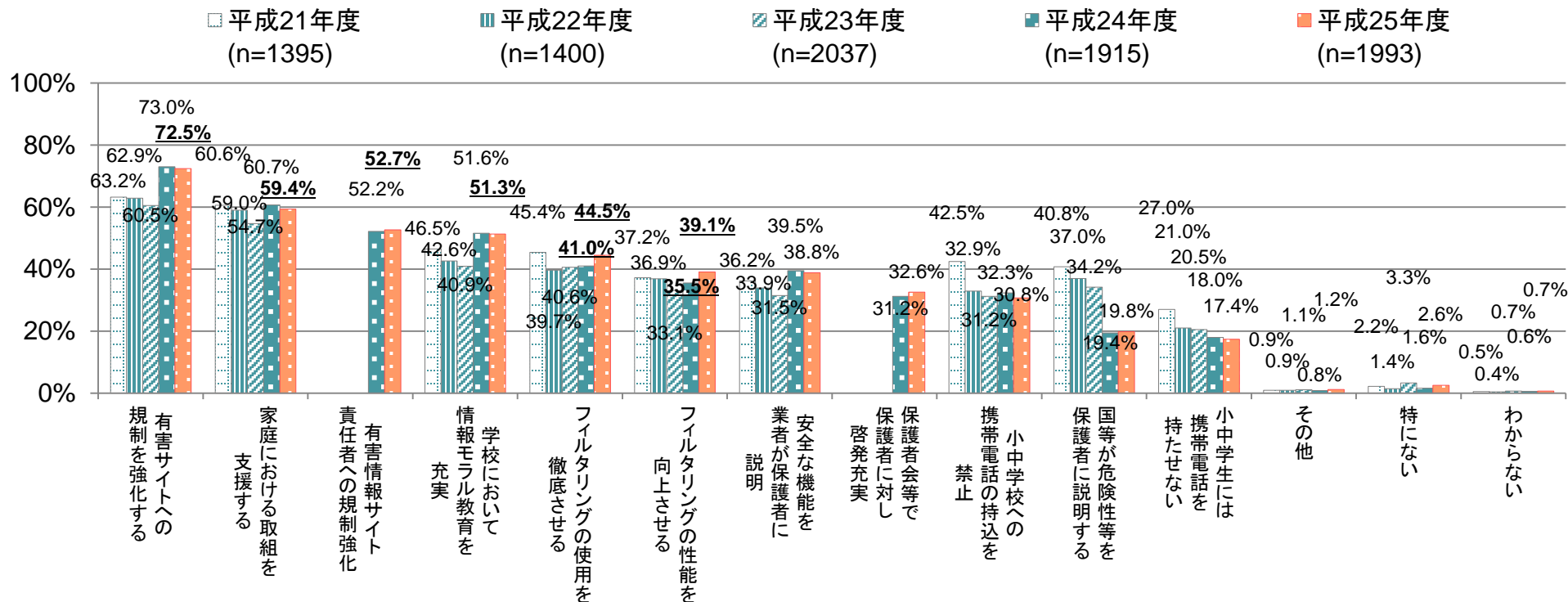
青少年インターネット環境整備法及び保護者の義務や責務を「いずれも知らない」と回答した保護者は、5割台後半。

概要22 青少年のインターネット利用に必要な取組

青少年のインターネット利用に必要な取組は、多くの項目で前年度と同程度。

青少年のインターネット利用に必要な取組

(保護者調査)



(注)「青少年のインターネット利用に必要な取組」は回答した保護者全員をベースに集計。

「有害サイトへの規制を強化する」が7割台前半、「家庭における取組を支援する」が約6割、「有害情報サイト責任者への規制強化」が5割台前半、「学校において情報モラル教育を充実」が5割強。「フィルタリングの使用を徹底させる」と「フィルタリングの性能を向上させる」は、平成24年度から平成25年度にかけて微増。